

メンテナン스의区民協働を通じた橋の新たな価値の創造に向けた取り組み

大田区 正会員 後藤 幹尚 非会員 後藤 朋子 正会員○長瀬 祥敬
アイ・エス・エス 非会員 多和田 俊介 非会員 高倉 沙羅 正会員 浅野 和香奈
東京工業大学 正会員 岩波 光保 正会員 千々和 伸浩

1. はじめに

次世代の橋梁長寿命化修繕計画の実践を通じて、ライフサイクルコストの削減による効果には限りがあると考え、社会インフラの実態を十分に周知した上で、これらの存在によって得られる恩恵をより広げることが重要であると考えている¹⁾。そこで、現代における橋の新たな価値を創造し、この価値から社会活動や日常生活の向上等に資する橋のみを守り、場合によっては新たな機能を拡充した橋へと更新することで、橋の存在によって新たな恩恵を享受することができる。本稿は、メンテナン스의区民協働を通じて橋の新たな価値を創造するために実施した、広報活動後に実施したアンケート調査結果について報告する²⁾。

2. 広報活動

これまで大田区では、橋梁長寿命化修繕計画をホームページに公表してきたが、ホームページの閲覧数とダウンロード数は 100 以下となっている。このため、橋の現状や存在価値等を広く理解してもらうためには、より効果的な広報活動が必要である。そこで、図-1 に示す令和 4 年 8 月 21 日号の「おおた区報」の表紙にて橋梁長寿命化修繕計画に関する活動を掲載し、広く周知するための活動を実践した。

3. アンケート調査の概要

広報活動の成果と橋に関する意識等を確認することを目的にアンケート調査を実施した。実施時期は、区報を用いた広報活動の効果を検証することも踏まえ、区報発行から 2 か月以内に実施することとした。調査対象は、区内全域を対象とすることから 18 地区の特別出張所における地域力推進会議の出席者とした。また、区の臨海部は道路が交通ネットワークの主流となっていることから、城南島、京浜島、昭和島の 3 島の連合会に所属する企業も調査対象とした。さらには、新たな価値を創造するためには、多様な方々の参加が重要であることから、橋梁事業を進めるにあたりこれまでの経験から接する機会がほとんどない、障がい者就労支援事業所も対象とした。

アンケート内容は、図-2 に示すように問 4-1～3 は橋について考えてもらう質問、問 4-4～7 は情報発信の必要性や効果に関する質問、問 4-8～10 は参加の可能性に関する質問の 3 つの視点から 10 問を設定した。

キーワード メンテナンス、区民協働、橋梁長寿命化修繕計画、新たな価値、広報活動

連絡先 〒143-0015 東京都大田区大森西一丁目 12 番 1 号 大田区都市基盤整備部建設工事課 T E L 03-6436-8725



図-1 おおた区報

番号	質問事項	選択肢
問1	性別	男性、女性、その他
問2	年齢	10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上
問3	大田区に住んでいますか	はい、いいえ
問4-1	橋を意識したことはありますか	はい、いいえ
問4-2	橋がなくなったら困りますか	はい、いいえ
問4-3	橋がなくなったとき、遠回りでも迂回ができればかまわないですか	はい、いいえ
問4-4	8月の区報で橋に関する記事を見ましたか？	はい、いいえ
問4-5	好きな橋や、橋に思い出はありますか	はい、いいえ
問4-6	区のウェブサイトで公開されている大田区橋梁長寿命化修繕計画を知っていますか	はい、いいえ
問4-7	橋について知りたいことはありますか	はい、いいえ
問4-8	ほうきで橋の落ち葉を掃いてくれますか	はい、いいえ
問4-9	橋を通じた地域課題解決の場があったら参加してもいいと思いますか	はい、いいえ
問4-10	地域の橋を見守る人が居たら応援してもいいとおもいますか	はい、いいえ

図-2 アンケート内容

4. アンケート調査結果

アンケート調査の全配布数と回収数は、959 枚である。アンケート配布の内訳は、18 地区の地域力推進会議での配布数が 602 枚、3 島の連合会では 270 枚、障がい者就労支援事業所では 87 枚となっている。

(1) 区民参加への可能性について

図-3 に区民参加への可能性に関する質問（問 4-8～10）の調査結果を、18 地区の全出張所、3 島連合会、障がい者就労支援事業所毎に示す。問 4-8 のほうきで落ち葉を掃くという具体的な行動を求める質問に対して、“はい”と答えた割合はいずれも 50%以下であったが、参加の形態が容易になるにつれて“はい”と答えた人の割合は増加する傾向を示した。また、問 4-9 の橋を通じた地域課題解決の場があれば参加しますかという質問に対して障がい者就労支援事業所において“はい”と答えた人の割合は低くなっていることから、あらゆる区民の参加を促すためには、何らかの対応が必要であることがうかがえた。

(2) 18 地区における橋への関心度について

表-1 に 18 地区の全出張所における橋への関心度を示す。この関心度は、アンケートの回答において橋に関心がある選択肢を選んだ割合から、偏差値を算出し、これを関心度とした。各出張所において概ね関心度が 50 程度であるが、30 程度以下になっている出張所が 2 箇所存在する。この 2 つの出張所では、問 4-1 の橋への意識に対する問いに対して“はい”と回答した割合が 50%台と低いことが関係しているものと考えられる。

5. まとめ

地域によっては橋の関心度に違いがあることから、橋の関心度が高くなるように全地区に対する情報の発信を進めるとともに、特定の地域に対しては対話のプレ実践を進め、メンテナンスの区民協働を通じて橋の新たな価値の創造に取り組む。

参考文献 1)後藤幹尚他：次世代の橋梁長寿命化修繕計画の実践，インフラメンテナンス実践研究論文集，Vol.1, No1, pp.504-513, 2022.3.
2) 後藤幹尚他：メンテナンスの区民協働を通じた橋の新たな価値の創造に向けた取り組み，インフラメンテナンス実践研究論文集，Vol.2, No1, pp.11-20, 2023.2.

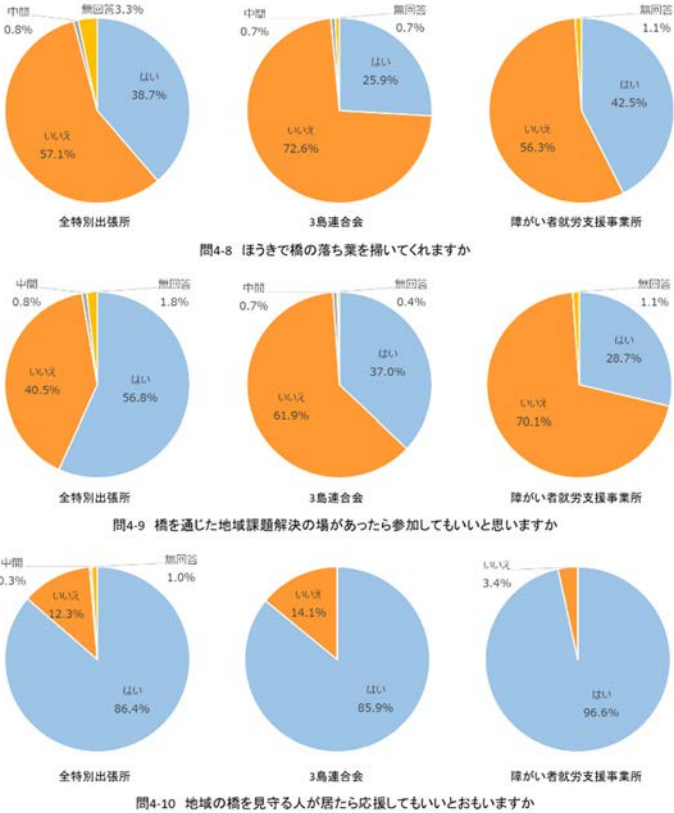


図-3 参加の可能性に関するアンケート結果

表-1 18 地区の出張所における橋の関心度

		大森東	大森西	入新井	馬込	池上	新井宿	旗町	田園調布	鶴の木	久が原	雪谷	千束	六郷	矢口	蒲田西	蒲田東	荏谷	羽田
問4-1: 橋を意識したことがあるか →“はい”回答した割合	%	79%	88%	56%	72%	100%	80%	63%	91%	50%	84%	71%	64%	81%	74%	78%	74%	86%	85%
	偏差値	52	60	33	46	69	53	39	62	28	56	46	40	54	48	51	48	58	57
問4-2: 橋が無くなったら困るか →“はい”回答した割合	%	96%	96%	79%	91%	100%	98%	94%	100%	100%	96%	100%	92%	100%	100%	90%	100%	98%	100%
	偏差値	50	50	18	41	57	53	47	57	57	50	57	42	57	57	38	57	53	57
問4-3: 橋が無くなったら通回りで良いか →“いいえ”回答した割合	%	79%	85%	63%	72%	85%	68%	77%	88%	62%	84%	89%	78%	81%	81%	86%	81%	80%	85%
	偏差値	50	57	29	41	57	36	48	62	28	56	63	48	53	53	59	52	51	57
問4-4: 8月の区報を見たか →“はい”回答した割合	%	42%	31%	28%	48%	65%	37%	31%	35%	31%	32%	62%	22%	63%	22%	42%	42%	23%	35%
	偏差値	53	44	42	57	71	49	45	48	44	45	68	38	68	38	53	53	38	47
問4-5: 好きな橋や、橋に思い出はあるか →“はい”回答した割合	%	71%	46%	49%	57%	65%	59%	54%	82%	62%	68%	56%	53%	81%	81%	50%	65%	64%	81%
	偏差値	56	35	37	44	52	46	42	66	48	54	43	41	65	66	38	51	50	65
問4-6: 橋梁長寿命化修繕計画をご存じか →“はい”回答した割合	%	13%	15%	14%	22%	27%	17%	9%	21%	12%	16%	13%	28%	31%	7%	20%	19%	18%	8%
	偏差値	43	47	45	57	65	50	37	55	42	48	44	66	71	35	54	53	52	36
問4-7: 橋について知りたいことはあるか →“はい”回答した割合	%	25%	38%	23%	43%	58%	44%	51%	65%	23%	56%	49%	53%	63%	48%	48%	58%	64%	58%
	偏差値	32	43	31	46	57	47	53	63	31	56	51	54	61	50	50	58	62	57
問4-8: ほうきで橋の落葉を掃いても良いか →“はい”回答した割合	%	46%	42%	33%	46%	50%	39%	49%	53%	31%	20%	31%	44%	56%	30%	24%	52%	39%	27%
	偏差値	56	53	43	56	60	50	59	63	42	31	42	54	66	41	35	62	49	38
問4-9: 橋を通じた地域課題解決の場があったら参加するか →“はい”回答した割合	%	46%	81%	37%	52%	50%	63%	51%	68%	54%	60%	58%	56%	56%	70%	50%	71%	64%	42%
	偏差値	39	72	31	45	43	56	45	60	47	53	51	48	49	62	43	63	56	36
問4-10: 地域の橋を見守る人が居たら応援するか →“はい”回答した割合	%	71%	92%	72%	80%	100%	93%	86%	97%	69%	88%	91%	89%	94%	96%	76%	90%	91%	88%
	偏差値	32	56	34	43	64	56	49	61	31	51	55	52	58	60	38	54	54	52
総合的な 橋の関心度	ポイント	5.67	6.15	4.53	5.83	7.00	5.98	5.66	7.00	4.92	6.04	6.20	5.78	7.06	6.11	5.64	6.52	6.25	6.08
	偏差値	44	52	27	47	65	49	44	65	33	50	53	46	66	51	44	58	54	51

